

JAほくさい自己改革取組宣言

組合員・地域に必要とされる組織であり続けるため JAほくさいは総合事業を展開します

私たちは、3つの目指す姿に向かって、農畜産物の販売、信用事業（JAバンク）、共済事業（JA共済）などの様々な事業と相談活動による総合事業体で、自己改革に取り組みます。

<3つの目指す姿>

1. 持続可能な地域農業の実現
2. 地域コミュニティの活性化や地域の多様な組織との連携強化による役割発揮や正・准組合員のメンバーシップ強化
3. 多様な媒体等による情報発信を通じて「農業振興の応援団」づくり

◆自己改革をやり遂げるための実践項目◆

- ①組合員との対話運動
- ②自己改革工程表による進捗管理
- ③営農とくらしを守る総合事業の持続的展開

具体的な取り組みは、総代会資料 P59 の自己改革工程表をご覧ください。

◆主な取り組み内容◆

1. 地域農業を支える支援【地域農業振興積立金：積立目標額 1 億円】
地域農業を支える農業の規模拡大や経営高度化への取り組み、また農業後継者の減少や高齢化対策等により、JA自己改革を通じた地域農業の振興・育成や保全を図ります。
2. 受託販売品精算高の達成目標 61.5 億円（30 年対比 10%増）
○実需者への米の直接販売や契約栽培の強化（直販米比率 40%）
○農産物直売所を通じた農業振興と地域の活性化
（各店舗共通イベント 2 回、ふれあい祭り 1 回、収穫体験ツアー 1 回）
多様な担い手による多品目の生産や収量増加に向けた栽培講習会や新規作物提案。
また、直売所が組合員、地域住民の集まる施設として地域活性につなげるため、生産者と消費者が交流するイベントを開催します。
3. 経営資源のシフト等による営農経済事業の効率化
TACによる担い手経営体への全戸訪問を実施し、総合事業の強みを活かした個別支援・事業提案を行い、担い手経営体の満足度を向上します。

以上 宣言する。

令和元年 6 月 1 9 日

ほくさい農業協同組合 第 23 回通常総代会